

監修：独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部
依存性薬物研究室 室長 船田正彦

日本市民安全学会 推薦

薬物乱用防止教育DVD 約22分 中学生以上・一般向け

人生をダメにしなさいで!

命を奪う 危険ドラッグと違法薬物



薬物乱用防止教育DVD 約20分 中学生以上・一般向け

死んでしまうことも!

中・高校生に広がる危険ドラッグ



企画意図

今、中・高校生など、10代の若者たちにも蔓延する、危険ドラッグなどによる薬物依存症。危険ドラッグを使用し救急搬送されたり、運転中に錯乱状態となり交通事故を起こす事件が頻発し、大きな社会問題となっています。

その背景には、こうした危険ドラッグが、インターネットなどによって安価で気軽に入手でき、「覚せい剤や大麻とは違い、逮捕されない」という、誤った考え方が広がっている実態があります。

ハーブやアロマなどと称して販売されている危険ドラッグの正体は、覚せい剤や大麻と同じ成分を持つ化学物質です。その作用は、大麻や覚せい剤と比べても強力で、薬物依存になるサイクルが速いと言われています。

そこで、この作品では、危険ドラッグが身体にどのような影響を与えるのか、その危険性を科学的に検証しています。そして、法律的にどうして違法なのか、厚生労働省が打ち出した「包括指定」などを盛り込みながら、違法薬物に対する正しい知識を身につける内容となっています。

人生をダメにしないで!

命を奪う危険ドラッグと違法薬物 約22分

※「危険ドラッグ」と「違法薬物」を取り上げた内容となっています。

概 要**①薬物の消費大国・日本**

現在、「薬物が大量に売れる」日本を狙って、さまざまな国から危険な薬物が持ち込まれ、若者の間で違法薬物汚染が広がっている。

②薬物依存の怖さ

薬物依存症の専門病院に入院する体験者に、その恐ろしい症状を語ってもらう。

③薬物依存の悪循環

「乱用」「耐性」「依存」「薬物詮索行動」を経て「薬物依存」となる工程を詳しく描く。

④危険ドラッグ汚染

この数年増加しているのが、「危険ドラッグ」である。依存患者の体験談や、危険ドラッグ吸引の実例も描いていく。

⑤危険ドラッグの身体への悪影響

お香などに見せかけ、カモフラージュされながら販売されている危険ドラッグ。専門家に話を聞き、図解や、マウスによる実験映像を交え、なぜ人体に有害なのかをわかりやすく説明する。

ライブラリー価格 ¥70,000 + 税

学校価格(中学校・高校のみ) ¥30,000 + 税

死んでしまうことも!

中・高校生に広がる危険ドラッグ 約20分

※「危険ドラッグ」のみを中心に描いた内容となっています。

概 要**①命を脅かす危険ドラッグ**

2013年3月・吉祥寺の殺人事件。容疑者は危険ドラッグを使用していたことが明らかになった。近年、このような事件が相次いでいる。

危険ドラッグは、パッケージからは一見、危険薬物とわかりづらい。専門家の話や実験の様子から、その成分構成や身体への影響を検証する。

②急増する危険ドラッグによる薬物依存

川崎市の薬物依存症患者支援施設。依存症患者の話から、その詳しい様子や、薬物依存に陥るサイクルを図解などで示していく。

③危険ドラッグを取り締まる東京都

東京都では「危険ドラッグGメン」が都内の危険ドラッグ店の巡回を行っている。現在の危険ドラッグをめぐる現状と、対策を詳しく説明していく。

④若年化する危険ドラッグ汚染

静岡県の薬物依存症専門病院。「覚せい剤などに比べて、堂々と使われるので、依存になるスピードが速い」と、院長は語る。

ライブラリー価格 ¥70,000 + 税

学校価格(中学校・高校のみ) ¥30,000 + 税

監修：独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

依存性薬物研究室 室長 船田正彦

企画・制作統括

高木 裕己

脚本・演出

菊地 金義

撮 影

堀田 泰寛

高橋 哲也

ナレーター

中村 久美

コーディネーター

斎藤 晃顕

DVD [カラー] / 2014年

●お問い合わせ、お買い上げは……

博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp